

ボート競技における競技力向上について

埼玉県立浦和第一女子高等学校

望月 みづほ

1. はじめに

ボート競技はイギリス発祥とされ、現在もヨーロッパ諸国では盛んなスポーツである。しかしながら日本では、選手登録人数約9000人、高校生に限定すると2600人程度と、その競技人口は少ない。

ボート競技は1人が2本のオールを持つスカル種目と、1人が1本のオールを持つスイープ種目に分けられる。スカル種目の1人乗りをシングルスカル、2人乗りをダブルスカル、漕手4人+舵手1人の5人乗りを舵手付きクォドルプルという。

人数	スカル種目	スイープ種目
1人	シングルスカル	
2人	ダブルスカル	舵手なしペア
2人+舵手		舵手つきペア
4人	舵手なしクォドルプル	舵手なしフォア
4人+舵手	舵手つきクォドルプル	舵手つきフォア
8人+舵手		エイト

高校生の全国大会は、3月の全国選抜ボート大会、8月のインターハイ、10月の国民体育大会が主なものとして挙げられるが、いずれもシングルスカル、ダブルスカル、舵手つきクォドルプルの3種目で行われている。

埼玉県内では、以下の11校が埼玉県ボート協会に所属しており、その競技人口は約230人である。

県立浦和高等学校	県立浦和商业高等学校	県立浦和第一女子高等学校
県立大宮高等学校	県立越ヶ谷高等学校	県立戸田翔陽高等学校
県立南稜高等学校	県立八潮高等学校	川口市立高等学校
慶応義塾志木高等学校	立教新座高等学校	

県内の多くの学校は、戸田市にある戸田ボートコースで練習を行っている。この戸田ボートコースは、1964年の東京オリンピックの際に使用されたコースであり、現在も、全日本選手権や全日本大学選手権など、国内最高峰の大会が行われているコースである。また、日本代表合宿も、このコースで行われている。

2. 県勢の全国大会での成績（過去3年）

	大会名	種目	クルー名	順位
H30	インターハイ	男子舵手つきクォドルプル	越ヶ谷高校	準優勝
		女子舵手つきクォドルプル	浦和第一女子高校	準優勝
		女子シングルスカル	浦和商业高校	5位
	福井国体	男子舵手つきクォドルプル	埼玉選抜	3位
		女子舵手つきクォドルプル	埼玉選抜	5位
		女子ダブルスカル	埼玉選抜	3位
H29	全国選抜	女子舵手つきクォドルプル	南稜高校	5位
		女子シングルスカル	浦和第一女子高校	3位
	インターハイ	女子舵手つきクォドルプル	南稜高校	準優勝
		女子シングルスカル	浦和第一女子高校	優勝

	愛媛国体	女子舵手つきクォドルプル	埼玉選抜	3位
		女子ダブルスカル	埼玉選抜	準優勝
H28	全国選抜	男子舵手つきクォドルプル	越ヶ谷高校	5位
		女子舵手つきクォドルプル	南稜高校	優勝
			浦和第一女子高校	準優勝
	インターハイ	女子舵手つきクォドルプル	浦和第一女子高校	4位
	岩手国体	女子舵手つきクォドルプル	埼玉選抜	準優勝
		女子ダブルスカル	埼玉選抜	7位
		男子シングルスカル	埼玉選抜	優勝

3. 埼玉県の強化について

公立校9校のうち、5校には専門の教員が在籍している。一方で4校には専門の教員が長らくいない状態が続いている。(戸田翔陽高校は部員数0) 私立2校は外部コーチが指導を行っている。

県内の強化の取り組みとして、以下のものが挙げられる。

- ・強化練習会（12月ごろ）

各校でエルゴメーター（陸上でボートの動きを練習する機械）による測定を行い、記録上位者を対象に強化練習会を実施している。

- ・指導者講習会（2月ごろ）

各校の顧問を対象に、講師を招へいし指導者講習会を実施している。

- ・戸田ロングレース（2～3月ごろ）

レースのないシーズンオフのトレーニングの成果を発揮する場として、普段のレースよりも長い3000mのレースを開催している。

- ・埼玉選抜選考会（3月ごろ）

エルゴメーターの記録上位者を集め、国体に向けた選抜選手を選考する。

- ・国体埼玉県予選（6月ごろ）

レースの結果をもとに、国体に向けた選抜選手を選考する。

- ・埼玉選抜合宿（8月ごろ）

埼玉選抜クルーで、転地合宿を行う。

4. 考察

女子は県内からオリンピックを輩出するなど、以前から上位入賞クルーを出していたが、女子クルーが優勝、準優勝できるようになってきたことは大きい。また、男子はこれまで上位入賞クルーがほとんどなかったが、強化の成果が見られ、少しずつ全国大会でも戦えるようになってきている。この要因はいくつか考えられるが、この10年の間に少しずつボート専門の教員が増えてきたことも、要因のひとつと思われる。

他の強豪県では、1人に1つシングルスカルが配艇されており、自分の課題とじっくり向き合えるという環境が整っているところもあるが、シングルスカル1艇で約100万円と、とても簡単にそろえられる金額ではなく、強化策としては現実的でない。

埼玉県には戸田ボートコースがあり、全日本大学選手権、全日本選手権で優勝するチームや日本代表選手が身近なところで練習をしている。この環境を活かし、上手な選手の漕ぎを見て研究する、各大学や選手、特に埼玉の成年の選手にレクチャーをお願いするなどして、埼玉全体でレベルアップを図りたい。